

各位
会社名 タマホーム株式会社
住所 東京都港区高輪三丁目22番9号
代表者名 代表取締役社長 玉木 伸弥
(コード番号: 1419)
問い合わせ先 取締役管理本部長 小島 俊哉
TEL. 03-6408-1200

2023年5月期 決算説明会（テレフォンカンファレンス）に関する 質疑応答概要の公開について

日頃より、ご支援賜りまして誠にありがとうございます。
当社は本日、2023年5月期 決算説明会をテレフォンカンファレンス形式により開催致しました。
ご出席頂きました皆様から同決算に関するご質問を賜り、以下ご回答を行っておりますのでお知らせ致します。

【質疑応答要旨】

Q1.

6月の受注状況を拝見させて頂きました。住宅業界としての成長が懸念される中、御社の戦略について教えてください。

A1.

6月の受注は順調でしたが、当社の成長戦略と致しましては、更なる社員確保が必要と考えております。今後は、事業売却を考えている企業様の社員の方々を引き受け、更なる社員確保を行い、機会損失が発生する事がないように、受注増につなげていきたいと考えております。
また、戸建分譲におきましては、現状、仕入も問題なく出来ておりますので、7月以降は順調に推移すると考えております。

Q2.

今期の売上高、営業利益の計画におきましては、今後も更なる単価上昇の可能性はあるのでしょうか。

A2.

単価上昇の目安に関しましては相場もございますので、インフレの状況になれば単価も上がっていきますが、デフレの局面になれば、単価はそれほど上がらないかと思えます。

Q3.

営業利益において、上方修正で発表した137億円と当期実績132億円の差異について教えてください。

A3.

今回、純粋に社員に対する感謝という意味で夏季賞与を多く支給しております。創業25周年の感謝および今後の社員の活躍を期待するものとして、約6.0ヶ月相当分を賞与として支給致しました。そのため、差異が発生しております。

Q4.

現在の住宅市場の状況と致しましては、各社在庫数の増加や値引競争が加速している中で、御社は利益率の向上および販売単価の上昇等が見られますが、どのようなところに取り組んだ結果、今のマーケット全体の動向と違いが出ているのでしょうか。

A4.

現在、低価格である事を強く推奨していた営業体制からの脱却を図っております。
アフターメンテナンスの質やお引き渡しをする建物品質の向上等、価格面だけではなく、それ以外の部分についてもお客様へご提案する営業体制を構築しております。
その結果、営業成績の向上につながっていると考えております。

Q5.

住宅設備系の原価についてはピークアウトしてきている状況でしょうか。メーカーはより値上げしていくような話を聞きますが、御社はメーカーからの値上げの要請を受けていない状況でしょうか。

A5.

光熱費や人件費の高騰等を理由として、各メーカーから値上げ要請は一時期ほどではないものの、継続してございます。今後も価格交渉を行いながら適正な対応を行ってまいります。

Q6.

昨年と比較すると社員数が減少しているが、今後の採用計画としてどのようにお考えでしょうか。
また、離職率はどのような状況でしょうか。

A6.

社員数の上限を設けることはせず、社員数増加に向けて注文住宅・戸建分譲事業を問わない採用活動を進めておりますが、現在は特に注文住宅においての社員確保に注力しております。
離職率につきましては、業界全体と比較しても変わりなく、弊社の場合は一昨年、昨年と変わらない推移で動いております。

以 上